

## ストックホルム大学教育学部への交換留学派遣候補学生 2024

大学院教育学研究科・教育学部は部局間学生交流協定に基づき、ストックホルム大学教育学部（スウェーデン）への派遣候補学生を募集します。協定校ではストックホルム大学教育学部での開講科目（学部・修士レベル）を受講します。なお、留学生へ開かれている他department科目も受講を希望することができます（他department科目の受講可否は、協定校へ推薦後に、協定校による受講可否の確認を経ます）。

### 1. 対象

申請時・派遣期間を通じて東京大学大学院教育学研究科・教育学部の正規課程に在籍する者  
（留学期間中に休学している者を除く）

### 2. 派遣期間

協定校における2024年秋学期（8月下旬開始）または2025年春学期（1月中旬開始）開始

1コース（1～3ヶ月）以上1年間まで

※別添1「＜参考＞ストックホルム大学教育学部 Fact Sheet」参照のこと。

### 3. 費用

本学規定の授業料を本学に納め、協定校における検定料・入学科・授業料は不徴収

その他の経費（渡航費、居住費、保険料、生活費等）は自己負担

※本交換留学プログラムは日本学生支援機構（JASSO）の「2024年度海外留学支援制度（協定派遣）（重点政策枠）」に採択されたため、派遣期間1ヶ月以上でJASSOの定める資格及び要件を満たす者1～2名に、月額8万円の奨学金を支給する。

※別添2「JASSO奨学金の受給資格・要件について」を参照のこと。

### 4. 募集人数

2名

### 5. 語学能力目安

TOEFL iBT 79～90、IELTS 6.0～6.5程度

### 6. 申請書類（学生支援チームホームページからダウンロード可能）

① 申請書

② 成績評価係数計算表

③ 大学・大学院入学後全学期の成績証明書（英文）

④ 申請時点で有効な英語能力試験スコアの写し

⑤ 申請時点の指導教員（学部生で指導教員がいない場合はコース教員）による推薦書1通（和文または英文・任意書式・厳封）

⑥ 奨学金受給希望状況確認書

### 7. 申請締切・提出先

2024年秋学期留学開始締切 2024年4月19日（金）15時【厳守】

2025年春学期留学開始締切 2024年6月19日（水）15時【厳守】（第1回で募集人数に達しなかった場合に募集予定）

申請書類①②（エクセルファイル）および③④⑥の写し（PDF）を国際交流センター [exchange@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:exchange@p.u-tokyo.ac.jp) へ送付するとともに、③⑤⑥の原本を窓口へ提出すること。

## 8. 選考方法

書類審査および面接。日程は詳細決定後連絡する。（秋学期留学分は締切後～4月末日までの指定日時、春学期留学分は締切後～6月末日までの指定日時）を経て派遣候補学生を決定。その後、協定校へ推薦し、協定校による審査後、派遣学生が決定する。

## 9. その他

- ① 参加時における指導教員（学部生の場合はコース主任教員）に、申請する旨了承を得ておくこと。
- ② 留学期間中の授業・試験日程を事前に十分確認し、参加が可能な場合のみ申請すること。協定校で修得した科目及び単位は、大学院教育学研究科・教育学部において認定された場合に限り選択科目の単位に相当する科目及び単位とすることができる。手続き等詳細については渡航前までに確認すること。
- ③ 申請後の申請取り下げ及び派遣決定後の辞退は原則認められない。
- ④ 派遣学生は、大学院教育学研究科・教育学部指定の海外留学保険へ加入する。
- ⑤ ビザ取得、派遣先国や地域の情報収集を含む渡航準備は、本人の責任により行うこと。

危機管理等について、参加前に「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイト及び『海外危機管理ガイドブック』を熟読すること。 <http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>

- ⑥ 申請資格・条件を満たしていないと判明した場合、その他派遣が適当でないと認められた場合は派遣決定後であっても派遣を取り消すことがある。
- ⑦ 障害等のある者は、派遣および修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は申請時に国際交流室に申し出ること。
- ⑧ 実施および中止の如何については全学交換留学派遣の方針にもとづくため、東京大学海外留学情報：「全学交換留学応募にあたっての注意事項・応募方法」ページ（下記URL）にて確認のこと。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-USTEP.html>

（以下、上記URLより抜粋）

派遣先機関が所在する国（地域）の治安や公衆衛生の状況の悪化などが認められる場合（日本国外務省が発出する「危険情報」が「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上、「感染症危険情報」が「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」に指定された場合等）は、学内選考を通過した場合でも、留学の中止や延期、帰国を命じることがあることに留意すること。

## 10. 問合せ

大学院教育学研究科 国際交流センター [exchange@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:exchange@p.u-tokyo.ac.jp)